

**世界最大の水素エネルギーモデル都市「福岡水素タウン」の完成記念式典を挙  
行  
～ 家庭用燃料電池「エネファーム」を150台集中設置 ～**

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、福岡県および西部ガスエネルギー株式会社(社長:遠藤 恭介)と共同で、福岡県前原(まえばる)市の「南風台(みなかぜだい)団地」「美咲が丘(みさきがおか)団地」において、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」150台の集中設置を完了し、「福岡水素タウン※1」完成記念式典を執り行いましたのでお知らせいたします。

「福岡水素タウン」は、福岡県と福岡水素エネルギー戦略会議※2が環境にやさしい水素エネルギー社会を世界に先駆けて実現するために、今年度から展開している「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」の社会実証事業の第一弾として行われているもので、このように大規模な家庭用燃料電池の集中設置は世界初の取り組みであります。これから4年間にわたり、エネファームを日常生活でご使用いただいで得られるデータや住民の皆さまからのご意見などをもとに、エネファームの更なる改良に役立てます。

式典では、麻生 渡 福岡県知事、松本 嶺男 前原市長、山口 益弘 当社 FC・ソーラー事業部長 などの主催者挨拶に続き、ご来賓を代表して、資源エネルギー庁 省エネ・新エネ部 政策課長 の 増山 壽一 様から祝辞を頂いたあと、「エネファーム」を設置した住民の皆さまに、主催者を代表して 麻生 知事 より記念品が贈呈されました。

環境に優しいエネルギーシステム「エネファーム」は、2009年度より世界に先駆けて、国内販売されます。当社は、「エネファーム」の普及促進に取り組むことにより、グループ理念である「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献」してまいります。

※1 「福岡水素タウン」整備

本事業は、福岡水素エネルギー戦略会議の「平成20年度実証活動支援事業」、新エネルギー財団(NEF)が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)から助成を受けて実施する「平成20年度定置用燃料電池大規模実証事業」の助成を受けて実施しました。

※2 福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造・輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織。2004年8月発足、会員数500企業・機関(2009年2月1日現在)。

以上

別添資料  「福岡水素タウン」完成記念式典概要(PDF:123.4KB)